

表11 Brunnstromの運動検査による回復段階

上肢	stage I : 弛緩性麻痺
	stage II : 上肢のわずかな随意運動
	stage III : 座位で肩・肘の同時屈曲、同時伸展
	stage IV : 腰の後方へ手をつける。肘を伸展させて上肢を前方水平へ挙上。肘90°屈曲位での前腕回内・回外
	stage V : 肘を伸展させて上肢を横水平へ挙上、また前方頭上へ挙上、肘伸展位での前腕回内・回外
	stage VI : 各関節の分離運動
手指	stage I : 弛緩性麻痺
	stage II : 自動的手指屈曲わずかに可能
	stage III : 全指同時握り、鉤形握り(握りだけ)伸展は反射だけで、随意的な手指伸展不能
	stage IV : 横つまみ(母指は離せない)少ない範囲での半随意的な手指伸展
	stage V : 対向つまみ、筒握り、球握り、随意的な手指伸展(範囲は一定せず)
	stage VI : 全種類の握り、全可動域の手指伸展。すべての指の分離運動
下肢	stage I : 弛緩性麻痺
	stage II : 下肢のわずかな随意運動
	stage III : 座位、立位での股・膝・足の同時屈曲
	stage IV : 座位で足を床の後方へすべらせて、膝を90°屈曲。踵を床から離さずに随意的に足関節背屈
	stage V : 立位で股伸展位、またはそれに近い肢位、免荷した状態で膝屈曲分離運動。立位、膝伸展位で、足を少し前に踏み出して足関節背屈分離運動
	stage VI : 立位で、骨盤の挙上による範囲を超えた股外転。座位で、内・外側ハムストリングスの相反的活動と、結果として足内反と外反を伴う膝を中心とした下腿の内・外旋

(Brunnstrom S. Moter testing procedures in hemiplegia : based on sequential recovery stages. Phys Ther 1966 ; 46 : 357-375)
 (石田暉. 脳卒中後遺症の評価スケール. 脳と循環 1999 ; 4 : 151-159)

表12 Barthel Indexおよびその判定基準

	independent	with help	dependent
1. 食事	10	5	0
2. 移乗	15	10~5	0
3. 整容	5	0	0
4. トイレ	10	5	0
5. 入浴	5	0	0
6. 歩行 (車椅子)	15	10	0
7. 階段昇降	5	0	0
8. 着替え	10	5	0
9. 排便	10	5	0
10. 排尿	10	5	0
合計点	()点		

食事

- 10 : 自立、自助具などの装着可。標準的時間内に食べ終える
 5 : 部分介助(例えば、おかずを切って細かくしてもらう)
 0 : 全介助

車椅子からベッドへの移乗

- 15 : 自立、車椅子のブレーキやフットレストの操作も含む(歩行自立も含む)
 10 : 軽度の部分介助または監視を要す
 5 : 座ることは可能であるが、ほぼ全介助
 0 : 全介助または不可能

整容

- 5 : 自立(洗面、整髪、歯磨き、髪剃り)
 0 : 部分介助または全介助

トイレ動作

- 10 : 自立、衣服の操作、後始末を含む。ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む
 5 : 部分介助。体を支える、衣服・後始末に介助を要する
 0 : 全介助または不可能

入浴

- 5 : 自立
 0 : 部分介助または全介助

歩行

- 15 : 45m以上歩行。補装具(車椅子、歩行器は除く)の使用の有無は問わない
 10 : 45m以上の介助歩行。歩行器使用を含む
 5 : 歩行不能の場合、車椅子にて45m以上の操作可能
 0 : 上記以外

階段昇降

- 10 : 自立(てすりや杖を使用してもよい)
 5 : 介助または監視を要する
 0 : 不能

着替え

- 10 : 自立。靴、ファスナー、装具の着脱を含む
 0 : 上記以外

排便コントロール

- 10 : 失禁なし。浣腸、座薬の取扱いも可能
 5 : 時に失禁あり。浣腸、座薬の取扱いに介助を要する者も含む
 0 : 上記以外

排尿コントロール

- 10 : 失禁なし。尿器の取扱いも可能
 5 : 時に失禁あり。尿器の取扱いに介助を要する者も含む
 0 : 上記以外

(Mahoney FI, Barthel DW. Functional evaluation: the Barthel Index. Md St Med J 1965 ; 14 : 61-65)
 (石田暉. 脳卒中後遺症の評価スケール. 脳と循環 1999 ; 4 : 151-159)